

地元プロジェクト 道後オンセナート2018

瀬戸内経済文化圏OPEN SUMMIT 2018 in 道後オンセナート

本企画“瀬戸内経済文化圏 OPEN SUMMIT”では、かつて西日本の交易の場となっていた瀬戸内に生まれつつある、新たな交流、とりわけアートプロジェクトやクリエイターの交流を顕在化し、一極集中型の放射状に広がるコミュニティではなく、環状に相互に連携するコミュニティという新たな境界のあり方を提示するものである。瀬戸内の各都市は共通点を多く持っている。山と海に挟まれた平地に都市が発展してきているということ、また、海運を活かした重化学工業の発展など、地理にも商業的にも共通している。そのような類似性を持つ都市間で、それぞれの町での新たな取り組みを共有し、地域の活性化につなげていくとともに、環状のコミュニティでの交流を促進したい。

第2回目となる2019年度は、開催地を愛媛に移し、「道後オンセナート実行委員会」と協力し、アートフェスティバル実施期間中にOPEN SUMMITを開催するとともに、同時オープンするPOP UP STOREを開催期間中継続して設置することで、瀬戸内経済文化圏という新たな概念を発信するとともに、圏内の若手事業者やクリエイター、アーティストの交流が生み出される場とすることを旨とする。



※瀬戸内法（瀬戸内海環境保全特別措置法）による瀬戸内海の定義

【開催概要】

OPEN SUMMIT

- 日程：2018年11月24日（土）13時～18時
- 場所：伊織 道後湯之町店
愛媛県松山市道後湯之町20-21
（道後商店街アーケード内）

交流会

- 日程：2018年11月24日（土）18時30分～22時30分
- 場所：伊織 道後湯之町店
愛媛県松山市道後湯之町20-21
（道後商店街アーケード内）
- 内容：地域の飲食店が出店し、キャッシュオン形式

2018参加団体

- 大阪：服部滋樹(graf)、原田祐馬(UMA/design farm)
- 和歌山：柏原誉(ARCADE PROJECT)、他2名
- 徳島：高橋利明(TTA+A)、東輝美(RDND)
- 香川：小笠原哲也(BOOK MARÛTE)、他2名
- 愛媛：二宮敏(NINO INC.)、村上雄二(榊エイトワンホールディングス)、白石卓央(榊愛媛建築研究所)
- 大分：原茂樹(日田シネマテーク・リベルテ)
- 福岡：白水高広、渡邊令(うなぎの寝床)、他1名
- 山口：菅沼聖(YCAM)、津田和俊(YCAM)、他1名
- 広島：出原昌直(ディスカバーリンクせとうち)、他2名
- 岡山：作元大輔(cifaka.inc)、他2名
- 兵庫：やまぐちくにこ(淡路島アートセンター)、合田昌宏(r3)、岩本順平(DOR)

DIRECTOR



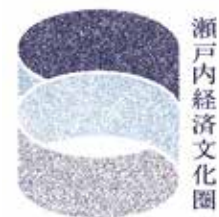
服部滋樹(graf)

1970年生まれ、大阪府出身。graf代表、クリエイティブディレクター、デザイナー。美大で彫刻を学んだ後、インテリアショップ、デザイン会社勤務を経て、1998年にインテリアショップで出会った友人たちとgrafを立ち上げる。建築、インテリアなどに関わるデザインや、ブランディングディレクションなどを手がけ、近年では地域再生などの社会活動にもその能力を発揮している。京都造形芸術大学芸術学部情報デザイン学科教授。



原田祐馬(UMA/design farm)

1979年大阪生まれ。2002年京都精華大学芸術学部デザイン学科建築専攻卒業後、インターメディアム研究所(IMI)7期生として入学。2005年まで在籍。2007年、UMA/design farmを設立。デザインする状況をデザインする「DESIGNEAST」、香川県・小豆島町のアートプロジェクト「響の郷+坂手港プロジェクト-観光から関係へ」などのディレクターを務める。2015年より京都造形芸術大学空間演出デザイン学科客員教授。



ロゴマーク

海で繋がった複雑なネットワークから渦が生まれるように願って「さんずい」「泡」「渦」などをモチーフとしてデザインしました。

デザイナー：原田祐馬

□主催：道後オンセナート実行委員会 / コンソーシアム道後アートプロジェクト